

## 事

## 疑義解釈資料の送付（その 9）

平成 30 年 11 月 19 日  
保険局医療課事務連絡

【解説】2018 年診療報酬改定についての疑義解釈に関する事務連絡（その 9）が発出されました。

## 【別添 1）医科診療報酬点数表関係】

## 【看護補助加算】

問 1 A214 看護補助加算の夜間看護体制加算における看護補助者の夜勤時間帯の配置について、配置されている看護補助者全員（みなし看護補助者を除く）が夜勤時間帯のうち 4 時間以上配置される日が週 3 日以上必要か。

答 看護補助者全員（みなし看護補助者を除く）が夜勤時間帯に勤務する必要はなく、看護補助者（みなし看護補助者を除く）が夜勤時間帯のうち 4 時間以上配置される日が週 3 日以上あればよい。

## 【リンパ浮腫複合的治療料】

問 2 リンパ浮腫複合的治療料に関する施設基準の(1)ウについて、「疑義解釈資料の送付について（その 4）」（平成 28 年 6 月 14 日付け事務連絡）別添 1 の問 23 で「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」にかかる要件を満たす研修として示したもの以外に、以下の研修（平成 29 年度に実施されたものに限る）を修了した者は、「専門的なリンパ浮腫研修に関する教育要綱」にかかる要件を満たすものと考えてよいか。

- （座学部分のみ要件を満たす研修として）
- ・一般財団法人ライフ・プランニング・センターによる「新リンパ浮腫研修」
- ・特定非営利活動法人日本医療リンパドレナージ協会による「医師対象理論講習会」

- （実習部分のみ要件を満たす研修として）
- ・フランシラセラピストスクール日本学校による「認定「リンパ浮腫セラピスト」実技コース」
- ・一般社団法人 ICAA による「リンパ浮腫専門医療従事者育成講座」
- ・一般社団法人日本浮腫緩和療法協会による「日本浮腫緩和療法協会定期講座全コース」
- ・特定非営利活動法人日本リンパドレナージ協会による「リンパ浮腫セラピスト養成講座実技実習コース」
- ・日本 DLM 技術者会による「リンパ浮

腫セラピスト「DVTM 研修」新リンパ浮腫研修対応コース」

- ・特定非営利活動法人日本医療リンパドレナージ協会による「新リンパ浮腫研修修了者対象実技講習会」
- ・学校法人呉竹学園東京医療専門学校による「リンパ浮腫治療講習会 A：リンパ浮腫治療・実技コース」
- ・MLD トレーニングセンター（旧：ジャパン・エコー・デ・アロマセラピー）による「Dr. Vodder's MLD リンパ浮腫治療専科課程（セラピー 2&3）」
- ・公益財団法人日本理学療法士協会及び一般社団法人日本作業療法士協会の共催による「リンパ浮腫複合的治療料実技研修会」（座学部分、実習とも要件を満たす研修として）

- ・公益財団法人がん研究会有明病院による「リンパ浮腫セラピスト養成講習会」
- ・日本 DLM 技術者会による「リンパ浮腫セラピスト「DVTM 研修」年間コース」
- ・特定非営利活動法人日本リンパドレナージ協会による「リンパ浮腫セラピスト養成講座 座学+実技実習コース」
- ・学校法人呉竹学園東京医療専門学校による「リンパ浮腫治療講習会 B：リンパ浮腫治療・座学実技コース」
- ・特定非営利活動法人日本医療リンパドレナージ協会による「医療リンパドレナージセラピスト養成講習会」

答 よい。

## 【手術】

問 3 K695-2 腹腔鏡下肝切除術〔亜区域切除、1 区域切除（外側区域切除を除く）、2 区域切除及び 3 区域切除以上のもの〕に関する施設基準において、関連学会と連携の上、手術適応等の治療方針の決定及び術後の管理等を行っていることは具体的には何を指すのか。

答 現時点では、日本外科学会系のデータベースである National Clinical Database に症例を登録し、手術適応等の治療方針の決定及び術後の管理等を行っている場合を指す。

なお、これに伴い、「疑義解釈資料の送付について（その 1）」（平成 28 年 3 月 31 日付け事務連絡）別添 1 の問 173 は廃止する。

## 【別添 2）医科診療報酬点数表関係（DPC）】

## 【重症度、医療・看護必要度】

問 1 DPC 対象病院における、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の評価の対象について、「DPC 対象病院において短期滞在手術等基本料 2 又は 3 の対象となる手術、検査又は放射線治療を行った患者（入院した日から起算して 5 日までに退院した患者に限る）は評価の対象としない」とあるが、評価の対象としない者については、短期滞在手術等基本料の「退院翌日に患者の状態を確認する等、十分なフォローアップを行う」等、当該手術等の実施以外の短期滞在手術等基本料の留意事項の要件を満たした者のみが該当するのか。

答 短期滞在手術等基本料の留意事項「退院翌日に患者の状態を確認する」等を満たす必要は無く、短期滞在手術等基本料 2 又は 3 の対象となる手術、検査又は放射線治療を実施した患者は評価の対象としない者として取り扱う。

## 【DIC】

問 2 診断群分類 120290 産科播種性血管内凝固症候群及び 130100 播種性血管内凝固症候群によって請求する場合、DIC に係る事項については、症状詳記を添付及び「出来高部分」欄への記載の両方が必要か。

答 必ずしも症状詳記を添付する必要はなく、「出来高部分」欄に DIC に係る症状詳記の記載をすればよい。

## 【同一傷病での再入院の取扱い】

問 3 7 日以内の再入院であって、前回の入院と今回の入院の「医療資源を最も投入した傷病名」がそれぞれ、030011 唾液腺の悪性腫瘍、030012 上咽頭の悪性腫瘍のように、診断群分類の上 6 桁が 03001x として同一となる場合は、同一として一連の入院として取り扱うか。

答 一連の入院として取扱う。

## 【手術・処置等 1 の選択】

問 4 K740 直腸切除・切断術及び



K740-2 腹腔鏡下直腸切除・切断術を実施し人工肛門造設術を併せて実施した場合に算定する「人工肛門造設加算」について、当該加算を算定する術式及び人工肛門造設術を実施した場合、診断群分類

における手術・処置等 1 の K726 人工肛門造設術又は K726-2 腹腔鏡下人工肛門造設術を実施したとして、手術・処置等 1 「あり」を選択してよいか。

答 そのとおり。その際はレセプトの診療

関連情報欄に、K726 人工肛門造設術又は K726-2 腹腔鏡下人工肛門造設術を記載すること。

**別添 3 調剤診療報酬点数表関係（略）**